

2023年 県下一斉 タカの渡り調査 報告

はじめに：田川

2023年度「タカの渡り福井県下一斉調査」は、9/16～10/1まで実施。一部定点では調査日前後に任意調査も実施いただきました。

猛暑の中皆様のご協力に感謝申し上げます。

最終日は前夜からの雨雲が残り、タカの渡りには条件が悪く残念な結果となりました。

福井ブロックでは今年もルート解明には至らず来年のお楽しみが残りしました。一斉調査期間中の結果は過去最多を記録した2022年の合計5765羽に対し、3191羽となり内訳はハチクマ（昨年比 -2161羽）サシバ（同 -346羽）その他（同 -67羽）合計（同 -2574羽）でサシバが大きく減少しました。そんな中、24日ホノケ山、杉津P、天筒山で多くのタカを観察する事ができました。2021年にもホノケ山でハチクマ81羽を含め111羽確認しており、大きな視点で見るとホノケ山から天筒山までのルートが再確認されたのではないのでしょうか。後日、ホノケ山の上流に新定点候補地を見つけて来ましたので、来年の定点に検討しては・・・。

リアルタイムの情報共有を目指し、昨年にも増してSNS（XやLINE）を活用し情報の発信に努めました。各定点の集計表をご入用の方は田川までお問い合わせください。各定点を担当された皆様から、今期の状況を纏めていただきました。（※以下表中の数はタカの羽数）

刈安山

刈安山	月日	サシバ	ハチクマ	他	合計
あわら市	9月16日	3	0	0	3
547m	9月17日	26	0	0	26
	9月18日	9	8	0	17
	9月23日	60	4	0	64
	9月24日	24	37	0	61
	9月30日	1	0	0	1
	10月1日	0	0	0	0
	合計	123	49	0	172

刈安山（548m）橋崎

今年は渡りをするタカの数、調査した6日間の合計で155羽と昨年204羽の70%に減りました。少ない日に当たったのか？確認レベルが落ちているのか？それとも飛翔コースが一部変わっているのか？絶対数そのものが減っているのか？短期間の調査では判りません。谷津田が減っている事で餌の採取場所が少なくなっている事は間違いないと思います。それでも、

23日（土）、24日（日）には少ないながらタカ柱を確認でき、タカの渡り調査の真髄が見られたと思います。昨年の調査日前後に展望台西斜面の杉林が伐採され、展望が非常に良くなりました。ただ、メインコースである東側の雑木が高くなったままなので、調査し難いと言う事には変わりありません。それとは逆に山肌が露出し草が良く生えるようになったせいか、カモシカを毎日の様に見る様になりました。刈安山展望台周辺にはクマタカが鳴きかわしなから飛翔するペアが確認され、更にペアとは別に3羽が確認されました。飛翔時の反った翼、鋭い目を目視で確認でき圧倒されました。流石、森林の空の王者！！

タカの渡り調査がメインなのにクマタカに目が行ってしまうのは私だけでしょうか？クマタカは今後も静かに見守って行きたいと思いません。

福井A

福井A	月日	サシバ	ハチクマ	他	合計
九頭竜川／天管生町	9月14日	0	1	0	1
5m	9月16日	0	0	0	0
	9月17日	0	0	0	0
	9月23日	0	0	0	0
	9月24日	0	0	0	0
	9月30日	0	0	0	0
	10月1日	0	0	0	0
	合計	0	1	0	1

福井B

福井B	月日	サシバ	ハチクマ	他	合計
九頭竜川／江上町	9月10日	1	0	0	1
	9月16日	0	0	0	0
	9月17日	0	0	0	0
	9月30日	0	0	0	0
	10月1日	0	0	1	1
	合計	1	0	1	2

福井C

福井C	月日	サシバ	ハチクマ	他	合計
中平町	9月16日	0	0	0	0
220m	9月17日	0	0	0	0
	9月23日	0	0	0	0
	9月24日	0	0	0	0
	9月30日	2	2	0	4
	10月1日	0	0	0	0
	合計	2	2	0	4

福井 A(5m) B(5m) C(220m) D(520m) 村上

刈安山からの渡りのルートを掴みたいと思ひ定点をとって調査していますが、タカの出現が少なくルート解明には程遠い状況です。今年は、福井市西部地区高須町と中平町に加え、江上町と天菅生町の2定点を追加し計4点での調査を行いました、良い結果を得ることはできませんでした。田川さんからの途中経過を確認するたびに羨ましく、そして刈安山の情報を得るたびに「一体どこに向かって飛んでいるのか？」と腹立たしささえ覚えます。タカの出現が少ないともっばら自分との戦いとなります。特に今年の夏は残暑が厳しく、各地点とも12時を過ぎてくると、どんどんモチベーションが低下していき、調査協力の15時まで定点観測できた日がほとんどありませんでした。申し訳なく思いましたが、調査員の年齢および観測地点の状態を考慮するとやむを得ないと判断しました。福井市西部地区の調査も4年を過ぎ、また東部地区調査も過去に約5年間続けましたがタカの高度が高すぎて見えないのか、ルートが全く違うのかさえも分からない状況です。ブロック会では、今年の調査結果を反省し、来年こそは実のある調査になるよう「全く違う形での調査を試みよう。」と今から話し合っています。

部子山/牧谷峠

部子山/牧谷峠	月日	サシバ	ハチクマ	他	合計
部子山 1300m	9月23日	0	1	0	1
牧谷峠 500m	9月24日	1	11	0	12
牧谷峠	9月30日	0	4	1	5
牧谷峠	10月1日	0	1	1	2
	合計	1	17	2	20

部子山/牧谷峠 酒井

部子山 (1300m) 牧谷峠 (485m)

23日山頂に霧が有るので1300m地点で調査開始。林間から出たハチクマとツミが旋回上昇して上空の霧中に消える。霧が定点にも降りて視界が確保出来なくなり、池田町魚見～南条町間の牧谷峠へ移動。東向きで調査したが、渡りのタカは観察出来なかった。翌日以降も、部子山は霧に覆われるので牧谷峠での調査となる。24日東向きではサシバ1 ハチクマ1 高度が500mと低いながら南下して行く。30日は牧谷峠で南条方向の西向きに定点を取り調査。ハチクマ4 ハイタカ1。10月1日は東向きで調査ハチクマ1 ハイタカ1の観察に終わった。ホノケ山で24日にハチクマが74羽出たのだが牧谷峠では観

察されなかった。高空か？コースが違うのか？来期も部子山の天候が悪い日は、牧谷峠での調査を実施予定。

矢良巢岳

矢良巢岳	月日	サシバ	ハチクマ	他	合計
河野	9月16日	7	7	15	29
470m	9月17日	9	2	7	18
	9月23日	0	1	3	4
	9月24日	9	29	5	43
	9月30日	1	12	0	13
	10月1日	0	3	0	3
	合計	26	54	30	110

矢良巢 (472.6m) 藤本

今年の矢良巢岳は、単独調査になることはなく皆さんに助けていただきました。

タカの動向としては、例年とは違う感じで、渡るのか？渡らないのか？という個体が、上昇気流に乗って渡りそうな個体にモビングをしたり、目の前を右往左往したり、が多く全体では渡り個体は少ないように感じました。また遠い海上付近で小さなタカ柱になっていることもあり、肉眼では見えず、全体的に物足りない気分になった調査でした。ホノケ山、天筒山、杉津で多く出た日に、矢良巢岳は絡まなかったの、後日ホノケ山近くの海沿いに入ってみたら、ピークは過ぎていたが3時間で18羽のタカが渡り、渡らないタカも含めると33羽が出現したので、来年の定点に要検討と思いました。

ホノケ

ホノケ	月日	サシバ	ハチクマ	他	合計
660m	9月16日	0	2	1	3
	9月17日	3	13	2	18
	9月23日	7	1	1	9
	9月24日	29	74	2	105
	9月30日	5	15	2	22
	10月1日	0	0	1	1
	合計	44	105	9	158

ホノケ山 (660m) 横山

9月24日「親爺NE上空」と言う息子の声で、海側をスコープで流していた私は、反射的に振り向き様、ホノケ山頂E側上空へと胸の双眼鏡を向けた。そしてアキアカネの乱舞を思わせるタカの舞を捕らえた。その数10羽・・・サシバだ。広げた両翼が透ける様に光って交錯し乍ら次第にES方向へとゆっくり流れる。「柱やね。」と息子が初認の喜びを声にする。「そうや・・・」タカ柱から目を離さず答えた。息子

に一度は柱を観せてやりたいと願っていただけに少なからず興奮し満足した。タカ柱と言う形容は言い得て妙である。それ迄散発的に出現していた物とは違いかなり高く上昇した。

流れる方向は、鉢伏山方向である。11:28同じく北東方向にハチクマの旋回上昇の姿を捉えた。ここにもタカ柱が出現した。時間差は有るが此処はやはりタカ達の休息と上昇気流発生の待機場所なのかもしれない。武生盆地で上昇気流に乗り南下した個体が、この辺りで一旦休息し再び上昇気流の発生を待って一気に南下する行ったパターンだろうか？確かに面白い定点ではある。ただパンク覚悟の悪路と言う条件さえ除けば・・・(9月に免許返納されました)

杉津

杉津	月日	サシバ	ハチクマ	他	合計
220m	9月16日	0	37	2	39
	9月17日	0	180	5	185
杉津/鉢伏山	9月23日	6	24	7	37
	9月24日	142	500	18	660
	9月30日	11	32	13	56
	10月1日	2	4	9	15
	合計	161	777	54	992

杉津P (220m) 武田

2022年夏の大雨被害により鉢伏山への入山が不可能であったため、今季も9月16日から10月1日までの6日間、鉢伏山の「北に派生する稜線」の海側、「杉津PA(標高220m)」で調査した。16、17日の天候は晴れ、33度～35度の猛暑日で、ハチクマ主体(16日:37羽、17日180羽)で北稜線、北稜線海側を上昇し高空を南南東、南西方向に南下する個体が多かった。23日は曇り時々晴れで気温は30度以下であった。タカ類の出現は少なく、定点直ぐ西側、時に北側から上昇し南下するハチクマ7羽、サシバ1羽を確認したあと、鉢伏山に入山できることが分かったので定点を鉢伏山直下林道(標高610m)へ移した。こちらでは、鉢伏山頂上を超高空で南下、檜尾谷尾根上空高く南下、板取谷上空から檜尾谷尾根上空を南下、孫谷上空から木の芽峠方向へ南下するのを観察した。明けて24日は晴れ、気温29度、風北西3m。ハチクマ主体(ハチクマ500羽、サシバ142羽)で、多くが定点の谷上空で薄い膜状のような雲の中に見え隠れし消失、あるいは北稜線西側を東南東に南下する個体が多く今季最高羽数(計660羽、ハチクマの1日の過去最高羽数500羽)を記録した。また、矢良巢岳から連絡が有り、通過したハチ

クマの一部を確認することができたが、ホノケ山定点とは連絡が取れず通過した個体をキャッチしたと判断するのは難しい。後半の30日は晴れで気温30度を超えたものの少数で、10/1は天候も悪く確認数は少なかった。今季の調査では北稜線600m付近から海に向かって伸びる尾根上空に出現し南下する個体が大半であった。そして、北稜線上に設置されていた風況ポールが撤去されていることを確認した。

天筒山

天筒山	月日	サシバ	ハチクマ	他	合計
敦賀市	9月11日	0	11	4	15
171m	9月12日	2	5	11	18
	9月13日	7	14	9	30
	9月14日	2	9	12	23
	9月15日	3	3	4	10
	9月16日	14	15	12	41
	9月17日	6	202	12	220
	9月18日	5	19	11	35
	9月19日	4	138	6	148
	9月20日	5	18	8	31
	9月21日	0	1	1	2
	9月22日	0	0	0	0
	9月23日	37	12	13	62
	9月24日	236	274	36	546
	9月25日	22	51	29	102
	9月26日	0	0	18	18
	9月28日	6	1	7	14
	9月29日	52	26	22	100
	9月30日	36	54	43	133
	10月1日	7	3	12	22
9/11~9/15	合計	14	42	40	96
9/16~10/01	合計	430	814	230	1474
9/11~10/01	合計	444	856	270	1570

天筒山 (171m) 田川

8月26日から調査を開始したがタカの出が悪く例年より早い10月18日に終了し延べ45日間の調査となった。今年は序盤低調な滑り出しながら県下一斉調査の16日以降は大きなムラが有りながらも飛ぶようになり17・19・24・25・30日10月2・3日に220・148・546・102・133・304・306羽確認。遅れを挽回したが例年よりノスリが1割程度と大きく減少し2018年の2286羽に続き2376羽と過去二番目に少ない数となった。しかし24日はサシバ236羽ハチクマ274羽その他合計546羽確認。これらのタカは、ホノケ山、杉津を経由して来たタカで、1. 国道8号線上空

を海岸沿いに天筒山に南下する個体や、杉津から鉢伏山に連なる山並みの西側稜線沿いに南下し、鉢伏山の前で天筒山方向へ向きを変え、更に中池見上空で旋回して南へ進路を変える個体やさらにそのまま南西方向へ飛去する**海（沿岸）コース**。2. 10/4港内白灯台上空で20～50羽のタカ柱を作った海上を直接南下する**海直下コース**。3. 東の余呉高原スキー場から大黒山（共に滋賀県）の北國街道沿いから出てそのまま山並みに南下する個体と天筒山に接近する個体に分かれる**山コース**。大きく分けると3つのコースがあるが今年は海（沿岸）コースが多い印象だった。飛去方向では、奥本保へ向かう西コースを取る個体が少なく唯一西へ流れた日が有ったが運悪く奥本保の調査が無かった。

奥本保

奥本保	月日	サシバ	ハチクマ	他	合計
小浜	9月1日	1	0	0	1
290m	9月2日	2	0	0	2
	9月5日	0	0	0	0
	9月7日	0	0	0	0
	9月11日	0	0	0	0
	9月12日	2	3	1	6
	9月13日	0	4	0	4
	9月14日	0	3	0	3
	9月15日	0	0	0	0
	9月18日	1	2	1	4
	9月19日	0	2	1	3
	9月20日	1	4	0	5
	9月21日	2	5	3	10
	9月22日	0	1	0	1
	9月23日	0	0	0	0
	9月24日	7	4	1	12
	9月25日	1	1	2	4
	9月26日	0	0	2	2
	合計	17	29	11	57

奥本保 平城

奥本保は、大変低調な年でした。9月1日より観察を開始、のべ18日間観察を続けましたが、2桁を超えたのは9月24日（12羽）と9月21日（10羽）の2日間のみでした。奥本保では例年、2桁後半や3桁を数える日が数日あるのですが、今年は18日間の合計で54羽と大変少ない観察数でした。もちろん、観察できなかった日に多数飛去した可能性もありますが、敦賀の天筒山や滋賀の猪子山が3桁を超える日も、小浜の方に飛来する数はほとんど無く、ここ十数年

で最低の記録となりました。原因は不明ですが、観察していて気になったことは、異常な暑さと不安定な天候が長く続いたことで、穏やかな風で1日晴れが続く日がほとんどありませんでした。風も強風の日が多く、敦賀を通過した個体は、概ね琵琶湖方面へ流れたのかもしれない。

父子	月日	サシバ	ハチクマ	他	合計
336m	9月9日	0	0	1	1
	9月10日	0	0	0	0
	9月16日	3	13	0	16
	9月17日	0	84	5	89
	9月18日	2	22	4	28
	9月23日	2	2	2	6
	9月24日	0	1	0	1
	9月30日	3	6	2	11
	10月1日	0	3	5	8
	合計	10	131	18	159

父子 堀

今年も観察日は天気が良く、特に初めの二日の後は、日焼けに気がつかずシャワーを浴びた時に手の甲が痛くて驚いた。以降手袋が必需品となった。他の地区で天候が悪い時でも晴れていたのとにかく暑かった。

出現数16日16羽、17日89羽、18日28羽、24日2羽、30日11羽、10月1日8羽。17日は二人体制で観察できたが、他の日は一人で観察することになり、観察範囲が広いので、見落としがかなり有ると思われる。17・18日以外は、出現しても遠くに見えるものがほとんどであった。

例年アサギマダラやトンボ類が観察眼の間に飛び込んで来るが今年は少なかった。

自主調査点のデータ

若須岳

越前市/若須岳	月日	サシバ	ハチクマ	他	合計
520m	9月18日	1	2	3	6

南越前町 大良

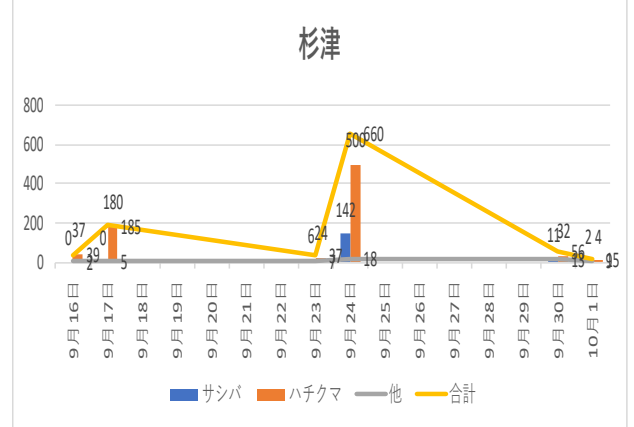
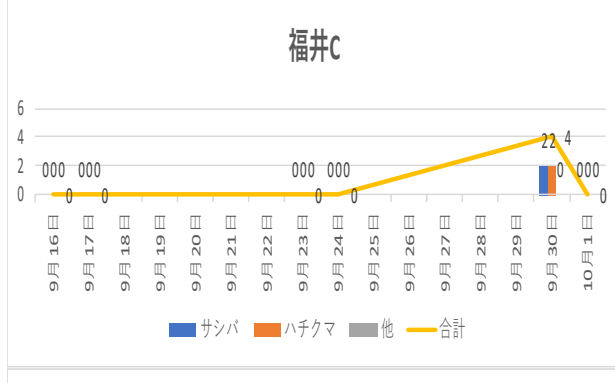
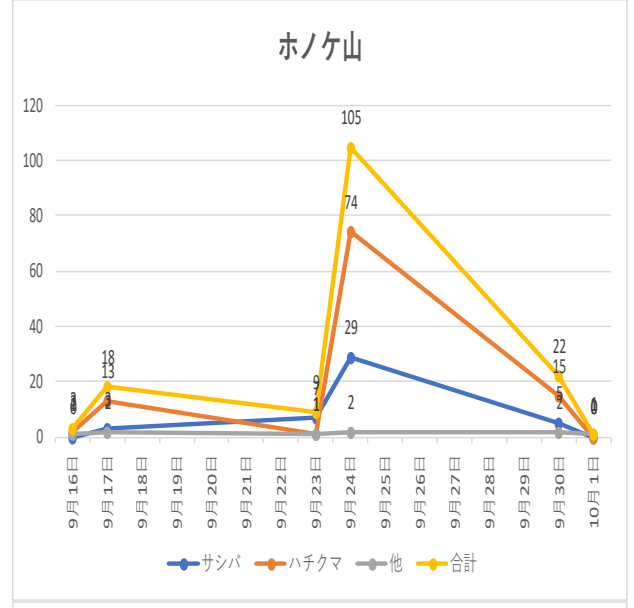
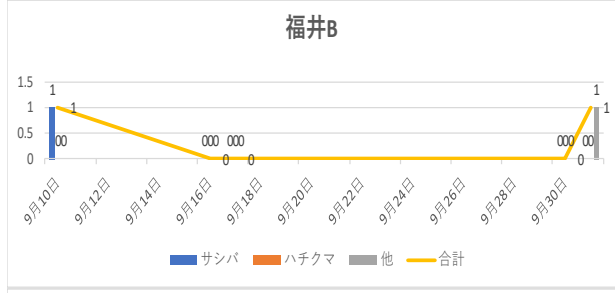
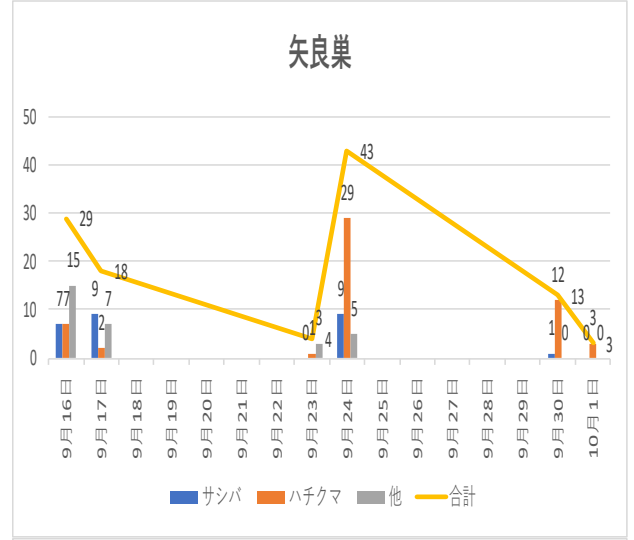
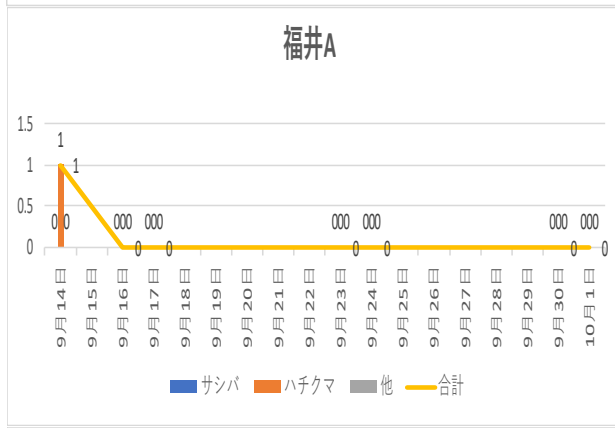
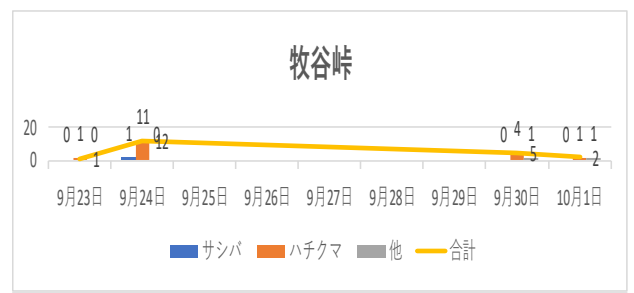
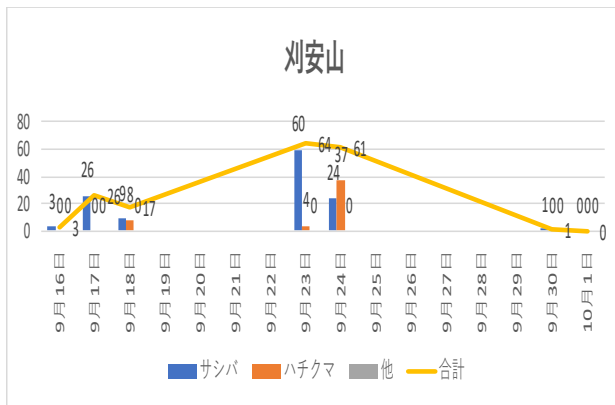
南越前町 大良	月日	サシバ	ハチクマ	他	合計
140m	10月4日	7	8	3	18

鉢伏山 豪雨災害復旧工事中

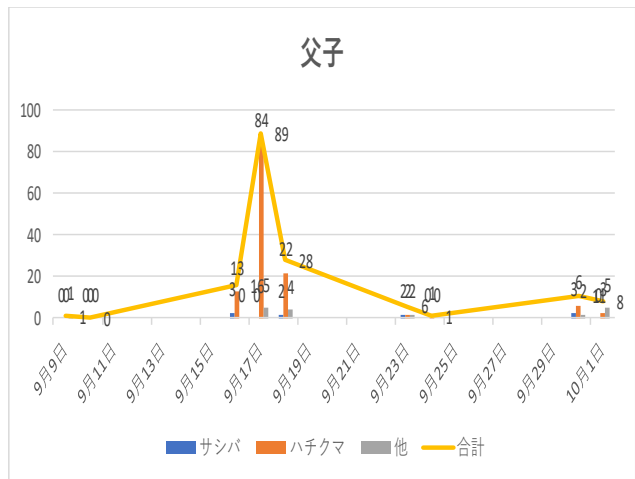
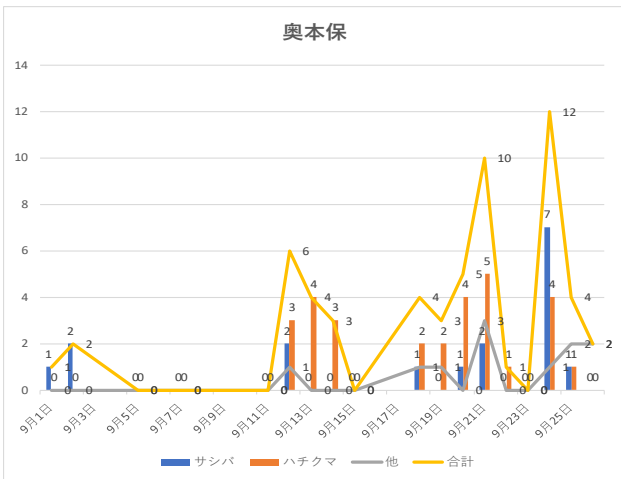
鉢伏山	月日	サシバ	ハチクマ	他	合計
762m	9月30日	0	2	0	2

河内川ダム

河内川ダム	月日	サシバ	ハチクマ	他	合計
205m	9月30日	0	41	1	42

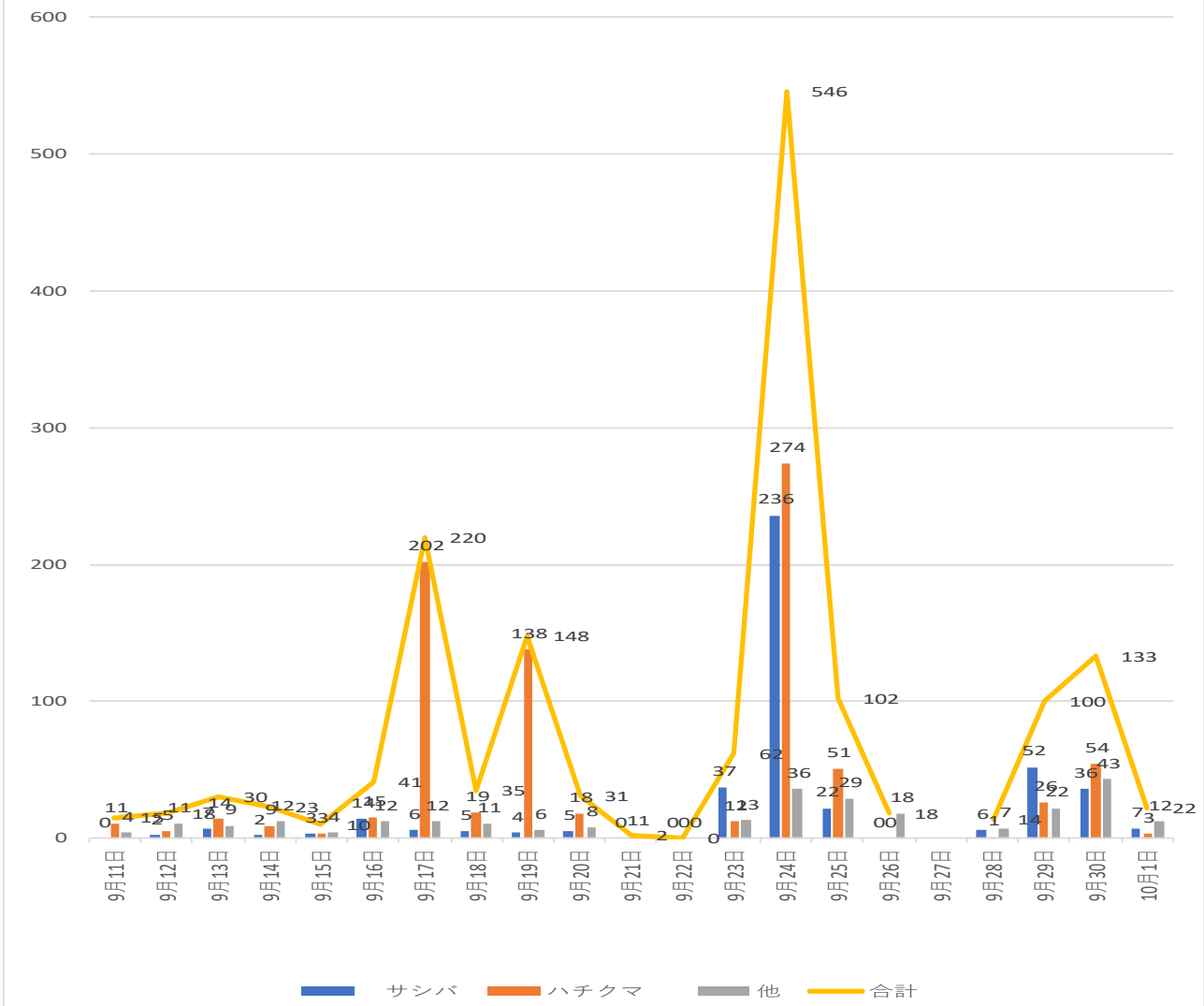


注) 各グラフの縦軸は羽数



注) グラフの縦軸は羽数

天筒山



調査にご協力頂いた皆様 (敬称略: 掲載漏れがありましたらお許し下さい)

- 赤星 昇 麻畑久人 井尻雅己 大坂英樹 大塚育恵 大西五十二 大橋正明 大宮正太郎
 香川正行 組頭五十夫 小嶋明男 酒井敬治 佐々木敬之 鈴川文夫 鈴木健蔵 田川 亨
 武田真澄美 田原伸吾 辻 義次 土田孝幸 藤本尚子 平城常雄 堀 孝雄 蒔田憲三
 村上公輝 村上千夏子 柳町邦光 矢部正美 矢部芳子 横山大八 吉田麻里子 宇野秀夫
 宇野竜司 越野恵子 橋崎建次 佐野ゆかり 進士温子 西村直人